

# 平成28年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台明德幼稚園

当園ではこの度、平成28年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

鶴山台明德幼稚園では、徳育を中心として知育・体育・国際化教育と4つの柱をたて、バランスのとれた教育を実践しています。

お父さん、お母さんを大切にできる子供に、また思いやりのあるやさしい子供に、そして誰にでも元気に挨拶のできる子供に成長してくれることを願い、教職員、講師自らが道徳性を身につけ、子供たちにより感化が与えられるよう、日々研鑽努力をしています。

遠足、運動会、お芋掘りなどのいろいろな行事や、絵画制作、英語レッスンなどの活動を通して情操教育にも、力を入れています。

又、同年齢はもちろんのこと異年齢の子ども達とのかかわりを持つことによって育つ、年長児としての自覚と責任感、年中児・年少児にとっては安心して参加できるというねらいのもと、「なかよし保育」を園内での活動や園外保育に取り入れています。

子ども達のよいところをたくさんみつけ、保護者の皆様と手を取り合って、すばらしいお子様を育てていきたいと考えています。

## II. 今年度の重点目標

●教職員の資質向上 ●安全管理体制の充実 ●保護者対応

## III. 自己評価項目と取組み状況

自己評価項目		取組み内容
1	教職員の資質向上 月に1回の研修以外にも教職員が学べる機会を増やす。	C 絵画や制作の際に、研修で習得した手法を取り入れて保育に活かしている。アレルギーがテーマの研修では知ることが多くとても勉強になった。保育に活かせる研修テーマを選定して継続実施していきたい。制作展の後に各クラスの制作を見る機会があり、他のクラス作品から学ぶことができた。行事後の反省会を教職員間でアドバイスしあえる場とし、振り返りを続けていく。子どもたちの成長に応じた学年ごとの対応を園外部の研修から取り入れるなど、教職員が学ぶ環境を整える。

# 平成28年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台明德幼稚園

自己評価項目		取組み内容	
1	教職員の資質向上	B	普段から教職員間での連携が密に行われ、ミーティングではメンバー内で目的の共有ができています。しかし、ミーティング自体の回数は少ない状況である。意見がなかなか合わないこともあり、スムーズに行えていない面も見受けられる。業務を円滑に進めるために、リーダー会議に準ずる問題解決の場を再度設ける必要がある。行事前の全体ミーティングに加えて、各学年ごとにミーティングの時間を確保していく。
2	安全管理体制の充実	C	子どもたちが防災ずきんの使用方法を学び、教職員ともに防災意識が高まってきている。図書室やプール授業時の災害発生を想定したケースを取り入れて、臨場感のある訓練を計画実施する。訓練回数を増やす要望があり、園の備蓄管理や不審者の対応訓練を新たに取り入れながら取り組む必要がある。災害時の職員の役割分担についても、それぞれ明確に定めて迅速に対応できる体制を整備していく。
		C	危険予防のため、勝手に鉄棒遊びをしないように子どもたちに伝えている。遊具周りの芝生が子どもたちが誤って転倒した際のケガ防止に役立っている。園全体として遊具に関する安全意識は改善の余地がある。遊具に衣服が引っかかる事故などの注意喚起をするとともに、降雨後の遊具点検は特に念入りに行っていく。見回り時に不具合を見つけた際は、重大事故を防ぐために即座に遊具の使用禁止を具申する。
3	保護者対応	B	お迎え時を中心に保護者と会話を行い、積極的にコミュニケーションが図れている。トラブル事例や保護者の意見にしっかり目を通して教職員間で共有しているが、いただいた意見を十分に反映させられていない。トラブル発生時には最低限の初期対応ができるスキルを全職員が身につけて対応にあたり、家庭状況を把握して引き続き保護者と良い関係を構築していく。

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

## IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の資質向上	園内研修に加えて園外部の研修参加を促し、教職員が他の園の様子や業界情報を取り入れ研鑽に努める。
2	教職員間の連携強化	時間に制約があるため、会議体の見直しと事前準備を徹底し、質を高める。
3	安全管理体制の充実	避難訓練の回数やその方法・設定について再度検討する。
		子どもたちが安全に遊具を利用できる環境を整えるために、遊具の確認を定例化して行う。
4	園全体の発展	園全体の発展につなげるため、保護者アンケートの集約意見を教職員全体で考察する。

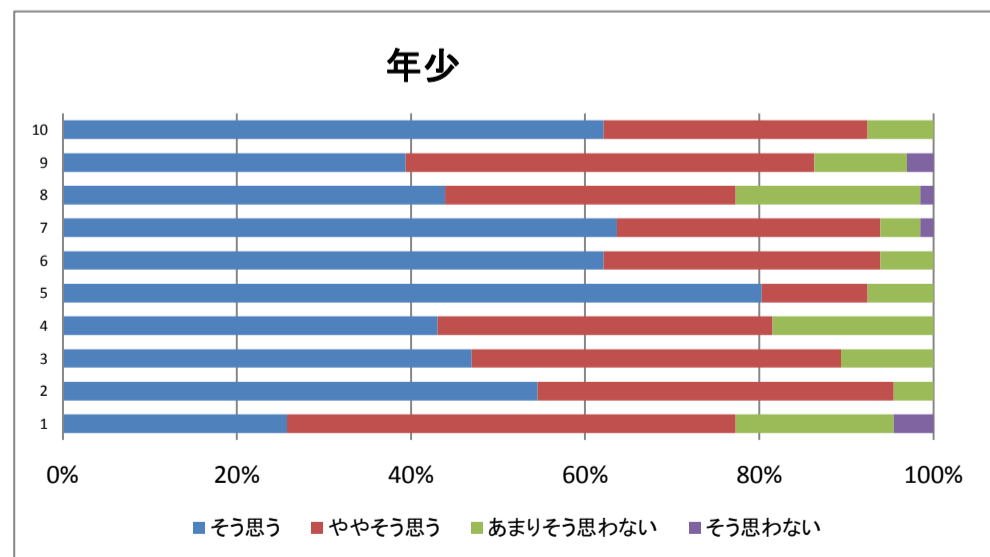
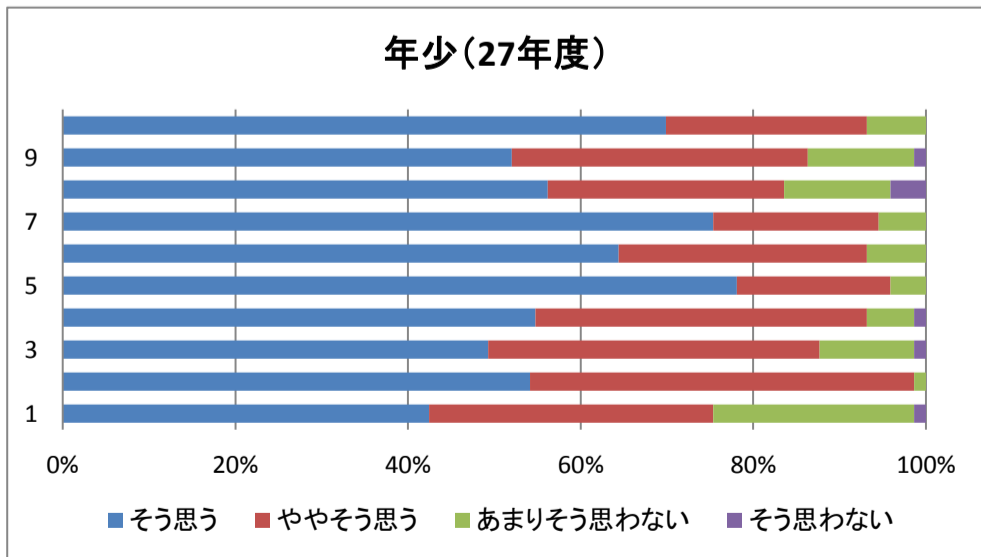
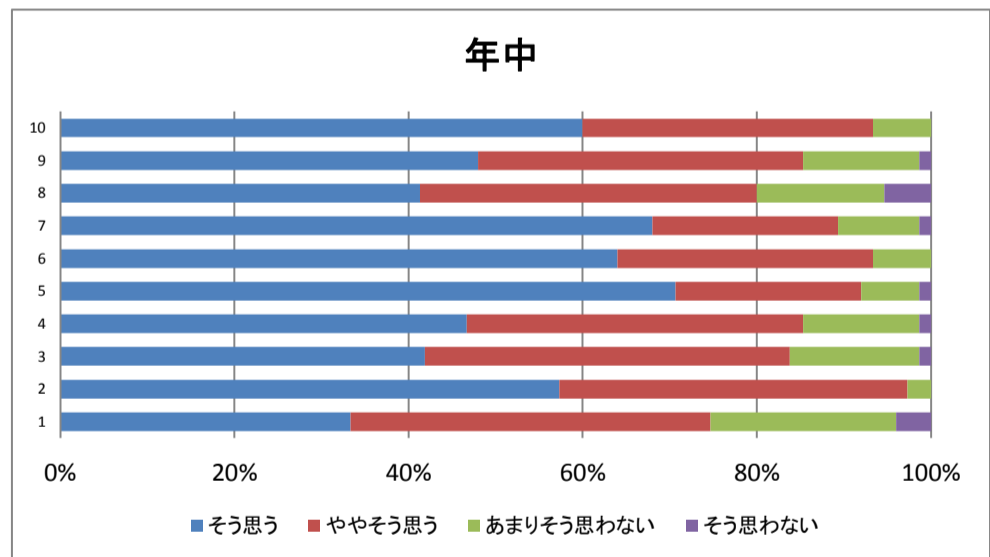
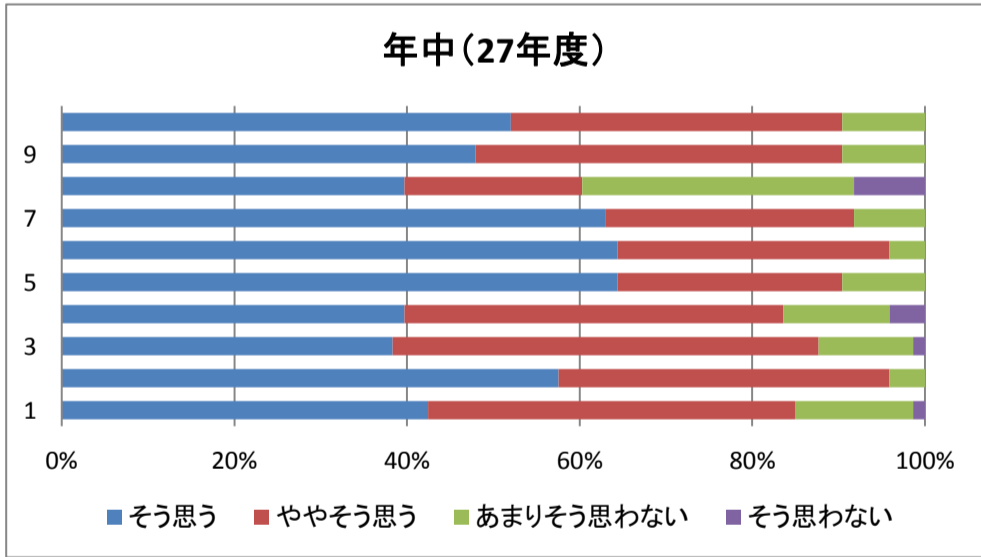
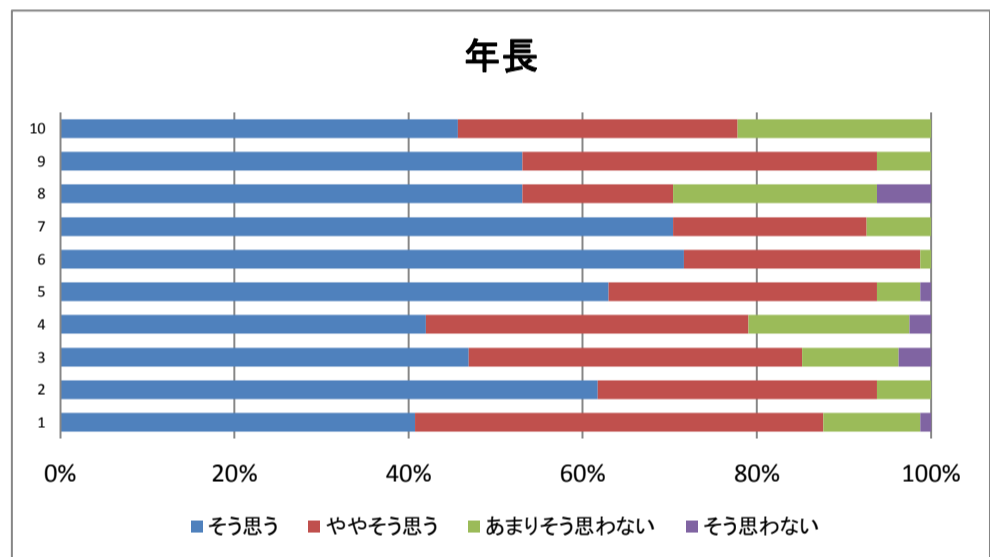
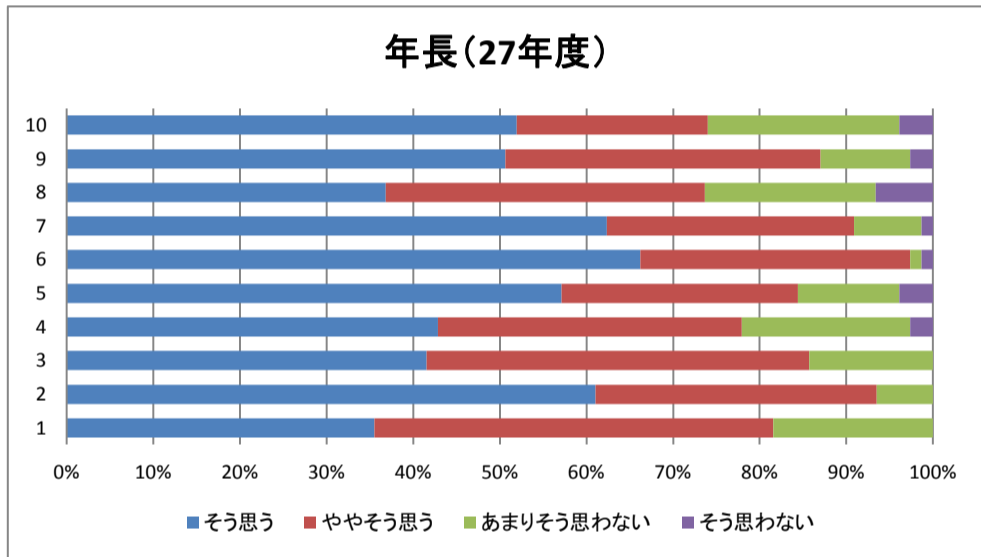
# 平成28年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台明德幼稚園

## V. 保護者アンケートの結果

### ■アンケートの集計結果

質問1	質問2	質問3	質問4	質問5
お子さんは、誰にでも自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができますか？(ありがとうの言葉など)	お子さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お子さんは、話を聞く時、相手の目を見て聞くことができますか？	お子さんは、お家で進んでお手伝いをすることができますか？	お子さんは、絵本に興味を持ち、読んでもらおうという姿勢が見られますか？
質問6	質問7	質問8	質問9	質問10
お子さんは、集団生活の基本(順番を守るなど)がきちんとできていますか？	お子さんは、体育活動(跳び箱、縄跳び、鉄棒、ボールなど)を楽しみにしていますか？	お子さんは、プール活動を楽しみにしていますか？	お子さんは、体育活動やプール活動を通じて、体が丈夫になったと思いますか？	お子さんは、英単語や英語の歌などに興味を示していますか？



## ■アンケート結果の考察(気付いた事・今後の課題など)

### ◇項目1

昨年に引き続き、年少の70%台にとどまっている結果には取り組みの成果が表れておらず残念に思います。進んで自分から挨拶をする習慣を身につけるため、子供たちが自然に挨拶や感謝の気持ちが伝えられるような環境作りを考え、指導していきます。

### ◇項目2

全学年で90%以上の良い結果が出ていることは、この年代の子供たちの特徴である感受性の豊かさを、日常の保育の中で日々感じることができます。一人一人の活動や取り組みを把握し、小さな発見や喜びを見過ごすことのないように、共有して育ていけるよう見守っていきます。

### ◇項目3

全学年でほぼ良い結果が出ているかと思いますが、年長でそう思わないがあることが残念です。幼稚園では話している人の目を見て話す、聞くことの大切さを伝えております。ご家庭でも実践して頂ければさらに良い結果につながると思われまます。

### ◇項目4

幼稚園では先生のお手伝いや当番活動を通じて、人の役に立つ喜びや責任を持つやりがいを体験することで、ご家庭でも進んでお手伝いができるようになっていくと考えます。さらに良い結果が出るように、褒められ必要とされる喜びが体感できるように指導していきます。

### ◇項目5

年少、年長がとても良い結果なのには、週一回の絵本の貸し出しの際に、家庭内でのご協力があるとされます。今後も本読みの習慣をなくすことのないように、園内の本の充実を図り、園での絵本の読み聞かせの機会を増やし、本への興味に繋げていきます。

### ◇項目6

全学年共により良い結果が出ていますが、集団生活の中での基本ルールを守ることが何より大切ですので、より一層丁寧に指導する必要があると考えます。園児自らが基本ルールを良く理解し、進んで規律を守れるようにしていきます。

### ◇項目7

ほとんどの学年で高い結果が得られています。これからも、体育講師との連携を強め、縄跳びや鉄棒など、個々が目標に向かって努力し、達成する喜びを体感し、体育活動を楽しく有意義な時間としていくことでよい結果に繋げていきます。

### ◇項目8

昨年に引き続き、思うような良い結果には繋がっておらず、非常に残念に思われます。毎週のプール指導において、水に対する恐怖感を無くすのはもとよりですが、進級テストへの挑戦意欲を高め、楽しいプール指導になるようコーチとの連携を図り工夫してまいります。

### ◇項目9

ほぼ高い数値が得られています。園でのプール活動や体育活動を通じて、身体が丈夫になったと感じて頂いた事は喜ばしいです。年少、年中については成長過程でもあるため、3年間での園生活において、実感していただけるよう活動してまいります。

### ◇項目10

年少は90%以上と高い興味を示しています。初めて触れるネイティブ英語、身体を使ったゲームや歌を楽しんでいます。年長での減少に対しては、アルファベットの文字指導なども取り入れるなどの工夫を行い、子ども達の興味を育てるような楽しいレッスン内容を検討してまいります。

■その他ご意見等に対する所見・対応

多くのご意見が当園の教育理念、教育方針に対する温かいご理解とお子様の成長に対する心からのよろこびに関するものでした。

その他のご意見は個々のものがほとんどでしたので、一つ一つの活動を見直して改善してまいります。

VI. 学校関係者の評価

集団の中で生活をする時、共通のルールを守ることや、他人を思いやると言った徳育の理念を大切に指導されていることがアンケート結果に反映されていることと思います。園児の身体の成長に伴う心の成長や変化が各項目ごとで見られ、学年ごとに微妙な違いが表れているように思います。園の考察に基づき、具体的な指導について職員間で話し合い、取り組むことを期待しております。

日々の保育で忙しくされている中、月一回の研修に加え、保育に生かせる様々な勉強会を行い、個々のスキルアップを目指し、努力していることがよく分かります。共通理解や意見交換による先生方のさらなるスキルアップにより、子どもたちが心身とも健やかに成長し、保護者の方々から信頼して預けられる園であることを望んでおります。

以上